

2017年6月29日

各位

株式会社フジトランス コーポレーション

新入社員が植樹で自然の大切さを学ぶ

株式会社フジトランス コーポレーション（本社：名古屋市港区、代表取締役社長：系井辰夫）は新入社員研修の一環として、6月20日（火）に北海道にある社有林「フジップの森」で、イタヤカエデ70本の苗木を植樹しました。この活動は、新入社員に当社の環境保全活動を理解してもらうことと、環境への意識を向上することを目的に、2012年から毎年行っています。

物流業者である当社は、貨物を輸送するために船舶やトレーラーの燃料として重油や軽油を消費し、二酸化炭素を排出しています。そのため、環境に配慮した各種機器の導入や経済的な運航に努めるだけでなく、二酸化炭素の吸収源として2011年に森林を確保し、「フジップの森」として所有しました。継続的に手入れして育てるだけでなく、木が薄いところには新たに植樹していくことで、より効果的な環境保全につながると考え、地元の森林組合協力のもと、植樹活動を実施しています。

研修では、これ以外にも、農作業体験や清掃活動などにも取り組みました。今後も、環境保全活動に積極的に取り組み、CSR（企業の社会的責任）を果たしていきます。



フジップの森 概要

所在地	北海道岩内郡共和町
面積	1,774,860 m ² (ナゴヤドーム約36個分)
状況	山林
登録日	2011年3月